

## Add Ino

単純加算

足して明るくします

式 = Back + Fore

リニア色空間上での加算も可能です。

### --- 入力 ---

両方とも接続していれば合成処理します。

動作スイッチ OFF のとき **Back** を表示します。

片方のみ繋がっていればそれを表示します。

### Fore

上に重ねる画像を接続します。

### Back

下に置く画像を接続します。

### --- 設定 ---

#### Opacity

上に重ねる画像の不透明度を指定します。

0 の時は Fore 画像は透明になります。

初期値は"1.0"で Fore 画像は不透明として合成します。

0 から 1.0 の間の値を指定します。

1 以上の 10.0 までの値も指定できます

#### Clipping Mask

ON にすると、

素材(Back)の存在しない(Alpha 値がゼロ)場所は、透明のままにします。

初期設定は ON です。

#### Linear Color Space

ON にすると、リニア色空間に変換してから加算を行います。

初期設定は OFF です。

## Gamma

リニア色空間に変換する際のガンマ値を指定します。初期設定は 2.2 です。

## Source is Premultiplied

ON にすると、色空間の変換前にカラーチャンネル値をアルファチャンネルで割り (Unpremultiply)、変換後に再びアルファチャンネルを掛けます。入力画像が Premultiply されているとき、半透明ピクセルの色を正しく計算することができます。初期設定は ON です。

(OpenToonz のエフェクトの入力は通常 Premultiply されています)

## --- ライセンス ---

リニア色空間の計算モードは DWANGO Co., Ltd.によるプラグインエフェクト "ComposeAdd" を基にしています。ライセンス情報については OpenToonz Stuff/doc/LICENSE 内の "LICENSE\_dwango.txt" を参照してください。